

# 2018(平成30)年度 第34期事業報告書

自 2018年4月1日  
至 2019年3月31日

公益財団法人 日中医学協会



## はじめに

研究助成事業は、2018年度からスタートした第五次日中笹川医学奨学金制度（奨学金制度）において、学位取得コース10名と共同研究コース20名がほぼ所期の目標を達成することができました。

2015年から実施してきた「第一次日中消化器内視鏡臨床診断治療・病理合同研修プロジェクト（通算5期）」は、8月に北京で総括会議を開催し、その評価を踏まえて、2018年度は第二次プロジェクトとして12月に協定締結しました。本プロジェクトを通じて、「がんの早期発見、早期治療」により、中国における5年生存率等の向上に寄与することが期待されます。

学術会議開催事業は、2018年1月11日に「日中医学交流会議2018北京——生活習慣病：日中における現状と対策」を開催し、2018年度は「日中医学交流会議2019東京」の開催準備を進め、本年6月19日に《日中医学交流会議2019東京》を開催することが決定しました。「がん治療の現況と近未来」を主題とし、日中両国の専門家8名が、ウイルス治療、分子標的治療、放射線治療、内視鏡治療について講演を行い、また、2018年ノーベル生理学・医学賞を受賞した本庶佑京都大学特別教授が基調講演を行います。当協会の伝統的なこの学術会議を継続できるよう努めて参ります。

医療協力事業は、2018年度から奨学金制度と共に第五次の制度としてスタートした笹川医学奨学金進修生同学会（笹川同学会）事業において、(1)診療技術・技能研修、(2)日中共同フォーラム、(3)地域医療支援活動、(4)支部学術会議の4事業がほぼ所期の目標を達成することができました。この4事業は目的を通底させ、笹川同学会が日中医学協会と共同で、日中両国専門家の講演と意見交換を通じて、中国の医療政策として提言を纏め、中国国家衛生健康委員会へ笹川同学会モデルとして報告することを目的としています。

時代が日中の新たな協力関係を求めており、単なる友好交流でなく、今後どのように事業展開していくか。目標値等を設定して、引き続き、笹川同学会事業に協力して参ります。

以上、2018年度はほぼ計画通りに事業を実施することができました。

情報発信力を高めつつサービス向上に努め、2019年度も当協会の飛躍に向けて鋭意努力してまいります。役員はじめ産学官民各方面の皆様には、引き続きご支援ご協力をお願い申し上げます。

## 1 当法人の現況に関する事項

### 1) 事業の経過及びその成果

2018年度事業計画に従い、当法人の事業、ア研究助成事業、イ学術会議開催事業、ウ医療協力事業、エ広報事業は、ほぼ計画通り実施された。

詳細は附属明細書に記した。

### 重要な成果

#### ① 日中笹川医学奨学金制度（第五次制度）

第五次制度（学位取得コース、共同研究コース）第40期（学位取得コース10名、共同研究コース20名）の助成及び第41期の募集と選考を行い（学位取得コース10名、共同研究コース18名）の合格者を確定した。

第40期学位取得コースは、研究一年経過後の中間評価において、全10名が合格し、第2年次の助成を行う。第40期共同研究コースは、2018年9月27日に研究者集会を開催し、日中双方の研究者40名が研究発表した。

詳細は附属明細書に記した。

#### ② 第二次日中消化器内視鏡臨床診断治療・病理合同研修プロジェクト（5期）の契約を締結し、第二次第1期（通算第6期）は2019年6月20日～7月17日に実施予定である。詳細は附属明細書に記した。

### 計画の未達

#### (1) 学術会議開催

##### ① 日中医学交流フォーラム

中国から提案のあった「高血圧関連フォーラム」は、提案から開催希望時期までが近接し、会議の質担保が困難であったため、2019年度事業として協議検討することとなった。

#### (2) 医療協力事業6分類の内、下記事業が計画の未達となった。

##### ① 医療の国際化に係わる事業：日本式医療の拠点化に向けた事業性調査

——事業内容の再検討を要することによる。

##### ② 医療関連訪日団等招請事業：日本・アジア青少年サイエンス交流事業

——他の諸事業を優先し、応募しなかったことによる。

##### ③ 訪中団派遣事業

——他の諸事業を優先し、募集しなかったことによる。

※ 日本式医療の拠点化に向けた事業性調査（経済産業省の事業等）は、2019年度に事業内容と連携先を検討する。

### 決算概要

会計別	予算額 円	決算額 円	達成率 %
公益会計	163,356,000	151,994,081	93.0%
法人会計	8,584,000	7,353,959	85.7%

## 2) 資金調達等の状況

主な収益	①日本財団助成金	128,380千円
	②事業収益/寄附金	23,149千円

## 3) 直前3事業年度の財産及び損益の状況

単位:円

区 分	2015年度	2016年度	2017年度	2018年度
一般正味財産経常収益	144,158,368	194,547,690	139,183,793	163,478,214
同評価損益等調整前 当期経常増減額	-3,713,306	1,915,895	-16,794,999	4,130,174
同当期経常増減額	-3,713,306	1,915,895	-16,794,999	4,130,174
同当期経常外増減額	3,938,259	—	—	—
指定正味財産増減額	-14,804,098	4,598,101	-1,800,000	1,800,000
正味財産期末残高	349,221,758	346,539,552	327,944,553	333,874,727

## 4) 主要な事業内容

事業	主な事業の内容
研究助成	<p>1. 日中笹川医学奨学金制度（第五次）</p> <p>① 第40期</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>学位取得コース10名 2018年4月5日 研究者認定式 2019年4月4日 研究一年経過後の中間評価</li> <li>共同研究コース20名 2018年9月27日 共同研究者集会（学位取得コース研究者陪席）</li> </ul> <p>② 第41期</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>学位取得コースの募集と選考 2018年9月15日 日中共同面接試験（10名合格）</li> <li>共同研究コースの募集と選考 2018年11月5日 共同研究等選考委員会（18名合格）</li> </ul> <p>2. 中国人医師・研究者招聘事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>腎臓内科医師育成プロジェクト 2017年12月5日～1年間 研究先：帝京大学医学部内科学腎臓グループ（内田俊也教授） 研究者：李金萍（天津第一中心医院腎臓内科主治医師）</li> </ul>
学術会議開催	<p>1. 主催事業</p> <p>① 日中医学交流会議 2019 東京……がん治療の現況と近未来</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>日中演者の選定：基調講演、ウイルス治療、分子標的治療、放射線治療、内視鏡治療</li> <li>実施：2019年6月19日（日本医師会館）</li> </ul> <p>2. 共催・協力・後援事業</p> <p>① 2018年度医学生のための漢方医学セミナー（後援）</p> <p>② 日本医療機器テクノロジー協会学術シンポジウム「CHINA-HOSPEQ 2018」（後援）</p> <p>③ 第5回日中韓看護学会（後援）</p>

医療協力	<p>1. 笹川医学奨学金進修生同学会事業</p> <p>① 診療技術・技能研修——呼吸器疾患、養老政策立案者</p> <p>② 日中ハイエンド医学フォーラム——生活習慣病、がん</p> <p>③ 地域医療支援活動——四川省都江堰市医療センター/皮膚科</p> <p>④ 支部学術会議——華北・山東地区等7地区で開催 健康講座・相談会：東京、横浜、明石</p> <p>⑤ 上記①～④への笹川同学会の要請による専門家派遣</p> <p>2. 専門家派遣事業</p> <p>① 日中消化管早期がん内視鏡病理連携診断交流報告会</p> <p>② 2018年天津市薬学会「海河薬学論壇」</p> <p>3. 医療関連訪日団等招請事業</p> <p>① 日中病院長専門化——現代病院管理制度研究討論会</p> <p>② 医療関連訪日団招請： ——第118回日本外科学会定期学術集会参加訪日団の招請等18件 ——浙江省腫瘍医院派遣医師の訪日研修支援等2件</p>
広 報	<p>①機関誌『日中医学』の発行（第33巻1～4号）</p> <p>②ホームページのリニューアル</p> <p>③メール配信（『日中医学協会 News』）</p>

#### 5) 会員に関する事項

種 類	当年期初 名	当期末 名	増 減 %
名誉会員	8名	8名	100%
個人会員	531名	486名	92%
法人会員	74社	75社	101%
特別会員	4社	4社	100%

※ 会員規程第9条第2項に基づき、2016年度から3年間会費未納の者（法人を含む）は、2019年3月31日をもって退会扱いとした。

#### 6) 職員に関する事項

職名等	氏 名	就任年月日	担当事務	備 考
事務局長	本田 伸吾	2012年5月1日	協会事業の管理・運営及び事務局事務の管理・運営全般	重要な使用人
事務局次長	岡田 光子	2013年4月1日	事務局事務の管理・営全般及び事務局長の補佐	重要な使用人
事務局長補佐	寄兼 良輔	2018年9月1日	事務局事務の管理・営全般及び事務局長の補佐	重要な使用人
一般職員	末原 珠生		事務局事務（事業全般）	
嘱託職員	4名		事務局事務	内、休職1名

## 7) 役員会等に関する事項

### ① 評議員会

開催年月日	議事事項	会議の結果
2018.06.07	公益第10回定時評議員会 <u>決議事項</u> 2017年度計算書類（決算報告）の承認の件 謝金支給規程改定の件 <u>報告事項</u> 2017年度事業報告の内容報告の件 2018年度事業計画、収支予算の内容報告の件 職務執行状況の報告の件	全員一致可決 全員一致可決
2018.08.02	公益第11回評議員会（みなし決議） <u>決議事項</u> 評議員の辞任に伴う補欠選任の件 理事の辞任に伴う補欠選任の件	全員一致可決 全員一致可決

### ② 理事会

開催年月日	議事事項	会議の結果
2018.05.22	公益第20回理事会 2017年度事業報告の件 2017年度決算報告の件 公益第10回評議員会（定時）の招集の件 日中国交正常化45周年記念事業の件 会員規程改定の件 業務執行状況の報告	全員一致可決 全員一致可決 全員一致可決 全員一致可決 全員一致可決
2018.07.19	公益第21回理事会（みなし決議） 評議員の辞任に伴う補欠選任候補者の推薦の件 理事の辞任に伴う補欠選任候補者の推薦の件	全員一致可決 全員一致可決
2018.12.14	公益第22回理事会 日中医学交流会議2019東京開催に伴う特別会費の徴収について 利害関係者の排除及び利益相反の防止に関する基本方針について 文書取扱規則改定について 特定資産の指定について 重要な使用人の補充選任について 業務執行状況の報告ほか	全員一致可決 全員一致可決 全員一致可決 全員一致可決 全員一致可決
2019.03.04	公益第23回理事会 2019年度事業計画(案)の件 2019年度収支予算(案)の件 委員会委員の改選について	全員一致可決 全員一致可決 全員一致可決

## 8) 許可、認可、承認等に関する事項

申請年月日	申請事項	認定年月日	備考
該当事項なし			

## 9) 対処すべき課題

- 1 日本財団の助成事業「日中笹川医学協力プロジェクト——日中笹川医学奨学金制度」は、第五次制度（学位取得コース、共同研究コース）第41期の募集と選考を行い、学位取得コース10名（定員枠通り）、共同研究コース18名（2名欠員）の合格者を確定した。応募者増加のための対応が問われる。
- 2 学術会議の主催事業は、「日中医学交流会議2019 東京」の実施が2019年度にずれ込んだ（プログラムが固まり、準備は順調に進んだ）。
- 3 中国のニーズに応え、2018年度は「中国病院長病院管理訪日研修（現代病院管理制度研究討論会）」を実施した。中国は病院改革が喫緊の課題であり、中国病院長の訪日研修の要望は多い。訪日団の質確保と共に、情報提供の質担保が問われる。
- 4 医療の国際化に係わる事業（経済産業省の事業等）について、日本式医療の中国における拠点化に向けた事業推進が求められる。

### 対処方針

- 1 2019年度は、募集開始時期を早めて行うことにより、応募者増加を図り、日本の研究先とのマッチング時間を確保すると共に、選考の厳格化を図る。
- 2 日本医師会の協力を得て、日本の強みを活かした企画（主題—がん治療の現況と近未来）により、中華医学会との協働を推進する。
- 3 病院長訪日団の団員構成に疑義（病院改革へ寄与できるか）がある場合には、中国衛生健康委員会傘下の能力建設和継続教育中心とのプロジェクト「中国病院長病院管理訪日研修（現代病院管理制度研究討論会）」に限定して中国のニーズに応える。
- 4 第一次プロジェクトに引き続き、「第二次日中消化器内視鏡臨床診断治療・病理合同研修プロジェクト（第6期～7期）」を実施し、これらの研修終了病院を中国における拠点病院として位置づけ、日本式医療の中国展開を図る。

## 2 役員等に関する事項

### (1) 理事

役職名	氏名	任期	勤務形態	報酬等	他の法人等の代表状況
会長	高久 史麿	2019. 03. 31	非常勤	48千円	地域医療振興協会会長
理事長	小川 秀興	〃	〃	36千円	順天堂理事長
副会長・理事	安達 勇	〃	〃	48千円	



業務執行理事	跡見 裕	2019.03.31	非常勤	48千円	
	新井 一	〃	〃	36千円	
	春日 雅人	〃	〃	36千円	
	日比 紀文	〃	〃	24千円	
理事	池谷 田鶴子	〃	〃	36千円	
	尾身 茂	〃	〃	24千円	地域医療機能推進機構 理事長
	近藤 達也	〃	〃	—	医薬品医療機器総合機構 理事長
	庄田 隆	〃	〃	36千円	
	住友 雅人	〃	〃	36千円	日本歯科医学会連合 理事長
	手代木 功	〃	〃	24千円	塩野義製薬株式会社 代表取締役社長
	林 謙治	〃	〃	24千円	
	林崎 良英	〃	〃	36千円	
	平岡 眞寛	〃	〃	—	
	堀田 知光	〃	〃	36千円	
	松原 謙二	〃	〃	12千円	
	三宅 養三	〃	〃	36千円	公益社団法人 NEXT VISION 理事長
	宮島 俊彦	〃	〃	24千円	日本製薬団体連合会 理事長

注) 報酬等は理事会・評議員会等の出席手当

退任理事	木村 政之	2018.06.07	〃	12千円	
------	-------	------------	---	------	--

注) 第20回理事会(2017年度事業報告、決算報告)への出席手当

## (2) 監事

役職名	氏名	任期	勤務形態	報酬等	他の法人等の代表状況
監事	金井 淨	2021.03.31	非常勤	48千円	
	小野 喜志雄	2019.03.31	〃	48千円	

注) 報酬等は理事会・評議員会等の出席手当

### (3) 評議員

役職名	氏名	任期	勤務形態	報酬等	他の法人等の代表状況
評議員	石館 光三	2021. 03. 31	〃	12 千円	
	一戸 達也	〃	〃	12 千円	
	緒方 剛	〃	〃	—	
	緒方 晴彦	〃	〃	—	
	加藤 照和	〃	〃	12 千円	株式会社ツムラ代表取締役社長
	川本 利恵子	〃	〃	—	
	小林 慶太	〃	〃	—	
	杉山 清	〃	〃	12 千円	
	曾根 智史	〃	〃	—	
	高橋 和久	〃	〃	12 千円	
	高松 研	〃	〃	12 千円	
	田平 武	〃	〃	—	
	寺本 明	〃	〃	—	
	根本 則道	〃	〃	12 千円	
	範 江林	〃	〃	—	
	松本 謙一	〃	〃	12 千円	サクラグローバルホールディングス 代表取締役会長
	道永 麻理	〃	〃	—	
	三村 孝仁	〃	〃	—	テルモ株式会社代表取締役会長
	山口 建	〃	〃	12 千円	静岡県立静岡がんセンター総長
山田 陽城	〃	〃	12 千円		
渡邊 和久	〃	〃	12 千円		

注) 報酬等は理事会・評議員会等の出席手当

### (4) 役員等の報酬等

区分	人数	報酬等の総額	備考
理事	21 名	612 千円	退任理事 1 名を含む
監事	2 名	96 千円	
評議員	21 名	132 千円	

## 3. 業務の適正を確保するための体制等の整備についての決議の内容の概要

- (1) 「利害関係者の排除及び利益相反の防止に関する基本方針」を制定した。
- (2) 前記(1)の制定に伴い「公益法人三法による法人の各機関の役割と責任&公益法人のガバナンスにおける留意事項」を改定した。



2018年度事業報告書  
公益財団法人日中医学協会  
TEL 03-5829-9123  
FAX 03-3866-9080  
発行日 2019年5月23日  
発行人 小川秀興  
〒101-0032 東京都千代田区岩本町 1-4-3  
住 泉 K M ビル 6 階